

## 令和3年(2021年)11月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2021年11月 数量 (トン)	2021年11月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	千葉県産・神奈川県産中心の入荷でした。温暖な日が続いたこともあり、荷動きが悪く、入荷量は減少しました。平均単価も安く推移しました。	462	57	85%	89%
2		はくさい	茨城県産・長野県産中心の入荷でした。気温が高く、前進出荷となったため、入荷量は増加しました。平均単価は高く推移しました。	719	45	115%	120%
3		きゅうり	群馬県産・埼玉県産・宮崎県産中心の入荷でした。荷動きが悪く、入荷量はやや減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	312	291	95%	94%
4		ねぎ	東北産・関東産中心の入荷でした。生育が良く、順調な出荷により入荷量は増加しました。平均単価は安く推移しました。	275	235	120%	83%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。作柄不良により入荷量はかなり減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	430	177	71%	245%
6	果実	みかん	良好な生育により、順調な出荷となり、入荷量は増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	988	282	116%	103%
7		りんご	全国的に春先の天候不良による着果量の減少により、入荷量はやや減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	296	364	97%	137%
8		かき	作柄不順傾向のため、正品は不作でしたが、入荷量はやや増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	280	357	109%	107%

## 【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上